

謹賀新年

これは、昨年末に編集した「からはし通信」です。

遅ればせながら、発行いたしますので、ご笑覧ください。

2021年1月6日

からはし通信

2020.12.28

No. 23

発行 社会福祉法人 唐橋福祉会

編集兼発行人 理事長 下村 勉

森田先生の 思い出の レモン

大津あいあい保育園の保育士としてちょうど16年間勤務した森田洋子先生は、病状が深刻化した頃、毎日、レモンの汁を愛飲していた。まるで抗がん剤に代わる薬のようだった。そこで、私の自宅に実ったレモンを30個ほど差し上げた。とても嬉しそうだった。「また、来年も持ってくるからね」と言ったが、その願いが叶うことはなかった。【「からはし通信」No.19】

ところが今年は、鈴なりの大豊作になった。過日、収穫したが、なぜかどれも小粒ばかり。鶏の卵くらいだ。小柄だった森田先生を思わせるよう。

まず森田先生の霊前に捧げた。そして園の保護者・職員に1個ずつ配った。この小粒のレモンを通して、森田先生を偲んでいただいた。来年は、しっかりと有機肥料をあげて、大きく、たくさん実らせたい。保護者、職員をはじめ多くの方々に差し上げたい。（下村 勉）

あいあいの園庭には、今、大きな夏ミカンが3本の樹にちょうど40個も実っている。どの樹も開園当初に植えたもの。アゲハ蝶との永いたたかひを経て、ようやく実りの時期を迎えたよう。

20周年記念事業も あとわずか

- ⑪ 中庭のウッドデッキの全面貼り替え 現在は水に沈む特別な木材で作られているが、痛みもひどくなった。これから20～30年、乳幼児のための快適な中庭になるように。
- ⑫ 記念誌「20歳(はたち)になったあいあい」の刊行 あいあい20年の歴史と現在を収録。4月に予定していた「20周年記念式典・感謝のつどい」に代わるものとして刊行。
- さらに、⑬「あいあいの保育環境をよくするための提案」を募集中。

今年も何かとお世話になりました。

「あいあい」は、間もなく20歳(はたち)になります。

子どもたちにとって、最高の保育環境を作るために努力いたします。

さらに一層お力をお貸しください。 2020年12月末日